

松原至天 （あしはら せいけん） 児童文學者。明治二十六年二月二十日青森生れ、昭和四十六年二月十五日歿（八五二一九七）。舊姓村山。號呦々活、水上路一。大正四年早稻田大學文學部英文科卒。本國國生主宰漫畫社、木元平太郎のユドモ社を経り、七年東京日日新聞社入社。十五年童話作家協會創立に參加。戦後東京家庭裁判所調停委員など。

著譯書、詩集『母の御手』（村山至天名、大正十年十月五日米本書店）、『世界童話選集』（譯、大正十二年四月十九日春秋社「春秋社童話文庫」）、『童心 精華 子と遊ぶ』（昭和十年四月十五日健文社）、『マリック子作マケネーイ物語』全二冊（編、第一卷「家庭の巻」昭和十四年一月、千五百再版、第二卷「學校の巻」十二年九月十八日、第二卷「その後の巻」十二年八月十八日）

富士房）、童話集『幼き日のこと』（譯、昭和十五年十一月二十五日富士房）、『子と共い呦々活隨筆』（昭和十八年四月二十日北光書房）、童話集『夢を賣るおむすこん』（昭和二十一年二月二十五日教育社「教育文庫」）、童話集『お母さん』（昭和二十二年十一月二十五日大日本雄辯會講談社）、『小學一年生文學讀本』（合著・児童文學者協會編、昭和二十四年五月五日河出書房）、



ユーイング作『まごころ物語』（ジャカネーバス）（譯、昭和二十五年十一月一日童話春秋社「世界名作文庫」）、オーレルコット原作『若草物語』（昭和二十七年八月十五日大日本雄辯會講談社「世界名作全集」）等。